

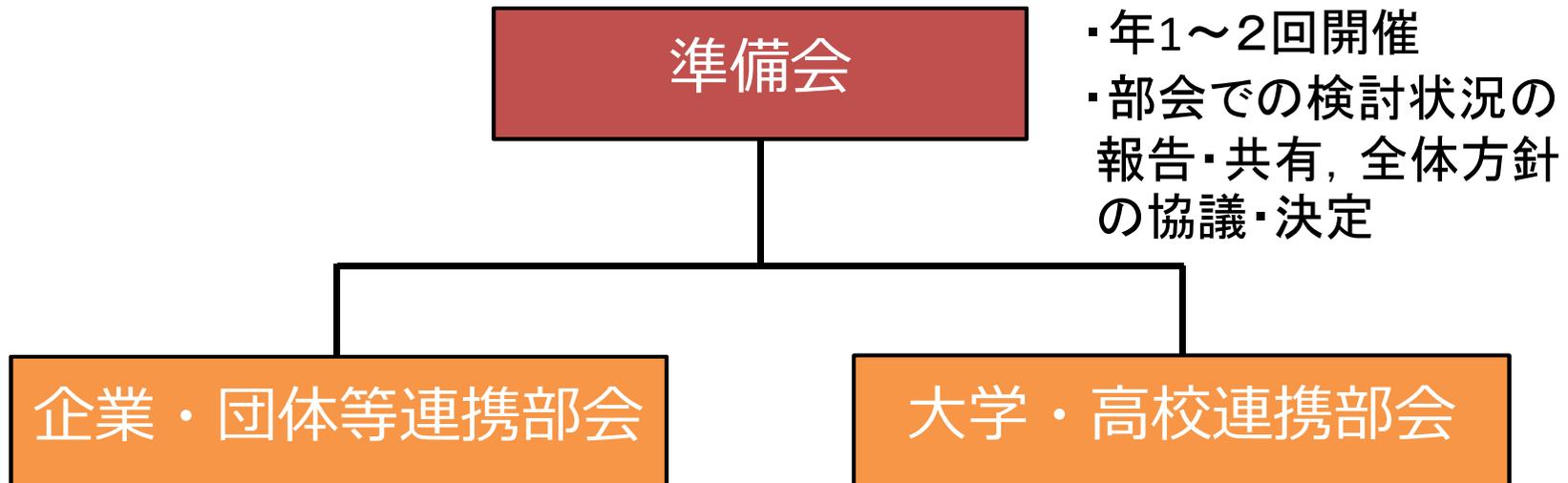
# 「新たな教育モデル」連携準備会の概要①

<p>目 的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成33年度（2021年）の新大学の開学に合わせて、県内企業や大学、国際機関など、様々な主体が連携可能な「プラットフォーム」を構築する。</li> <li>○企業等の課題解決演習への参画など、教育面での提携を進めるとともに、県内大学が連携して単位互換や共同講座等を行うことにより、県内高等教育の充実を目指す。</li> <li>○県内大学や企業等との具体的な連携内容の調整を進める。</li> </ul>																				
<p>構成員</p>	<table border="0"> <tr> <td>○県内大学・短大</td> <td>20</td> <td>大学・短大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○企業・団体等</td> <td>47</td> <td>社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○市町</td> <td>23</td> <td>市町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○国際機関</td> <td>2</td> <td>機関</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○高校関係団体</td> <td>1</td> <td>団体</td> <td>(※H31.4.23現在)</td> </tr> </table>	○県内大学・短大	20	大学・短大		○企業・団体等	47	社		○市町	23	市町		○国際機関	2	機関		○高校関係団体	1	団体	(※H31.4.23現在)
○県内大学・短大	20	大学・短大																			
○企業・団体等	47	社																			
○市町	23	市町																			
○国際機関	2	機関																			
○高校関係団体	1	団体	(※H31.4.23現在)																		

# 「新たな教育モデル」連携準備会の概要②

## ＜組織体制＞

### 「新たな教育モデル連携準備会」



- ・年1～2回開催
- ・部会での検討状況の報告・共有, 全体方針の協議・決定

#### 【企業・経済団体・国際機関・市町】

- ・年数回開催
- ・賛同企業等との連携内容の調整

#### 【大学・高校関係団体】

- ・年数回開催
- ・県内大学や高校関係団体との連携内容の調整

○事務局  
広島県環境県民局大学教育振興担当  
(会長：広島県県民生活部長)

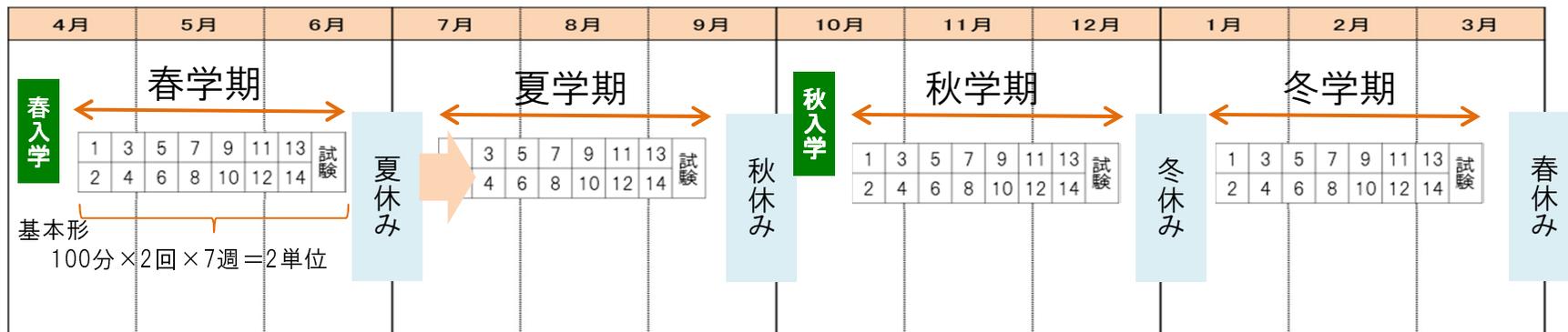
## 主な調整内容

- ◆課題解決演習（PBL）
  - ・新大学の課題解決演習における課題提供とサポート
- ◆インターンシップ
  - ・国内外におけるインターンシップ受入れ
- ◆キャリア・アドバイザー・ボード
  - ・企業社員や自治体職員をメンターとして登録
- ◆講師・ゲストスピーカー
  - ・企業等における専門家を登録、派遣

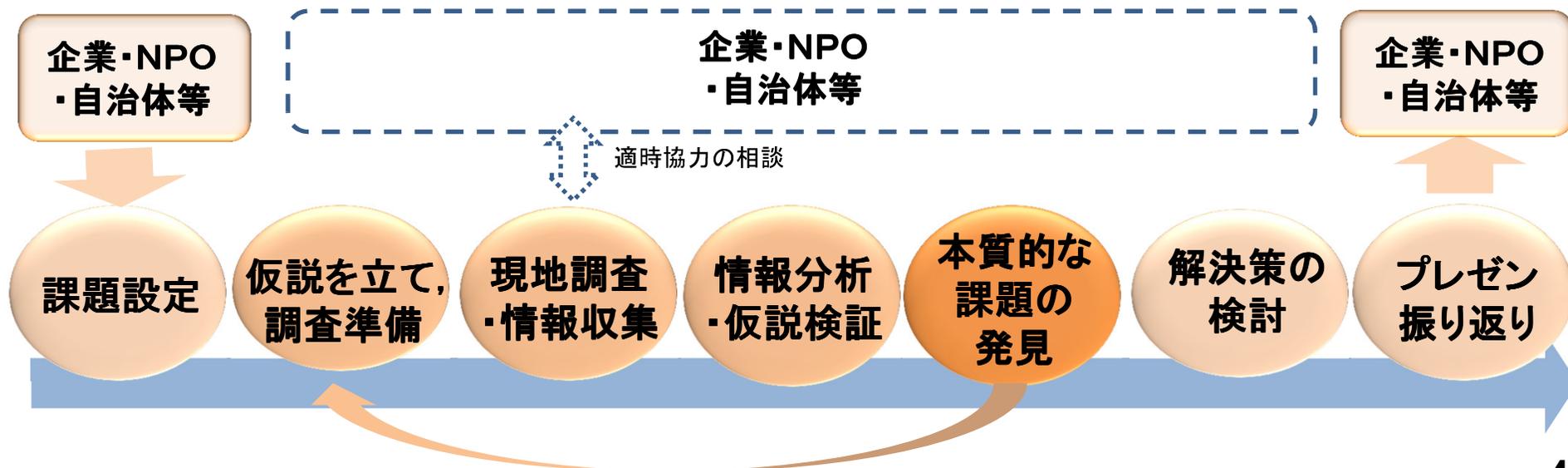
## 企業・団体等部会で調整する内容②

### ≪課題解決演習（PBL）での連携（1）≫

#### ■ 完全クォーター制の学事暦を活用した課題解決演習の実施

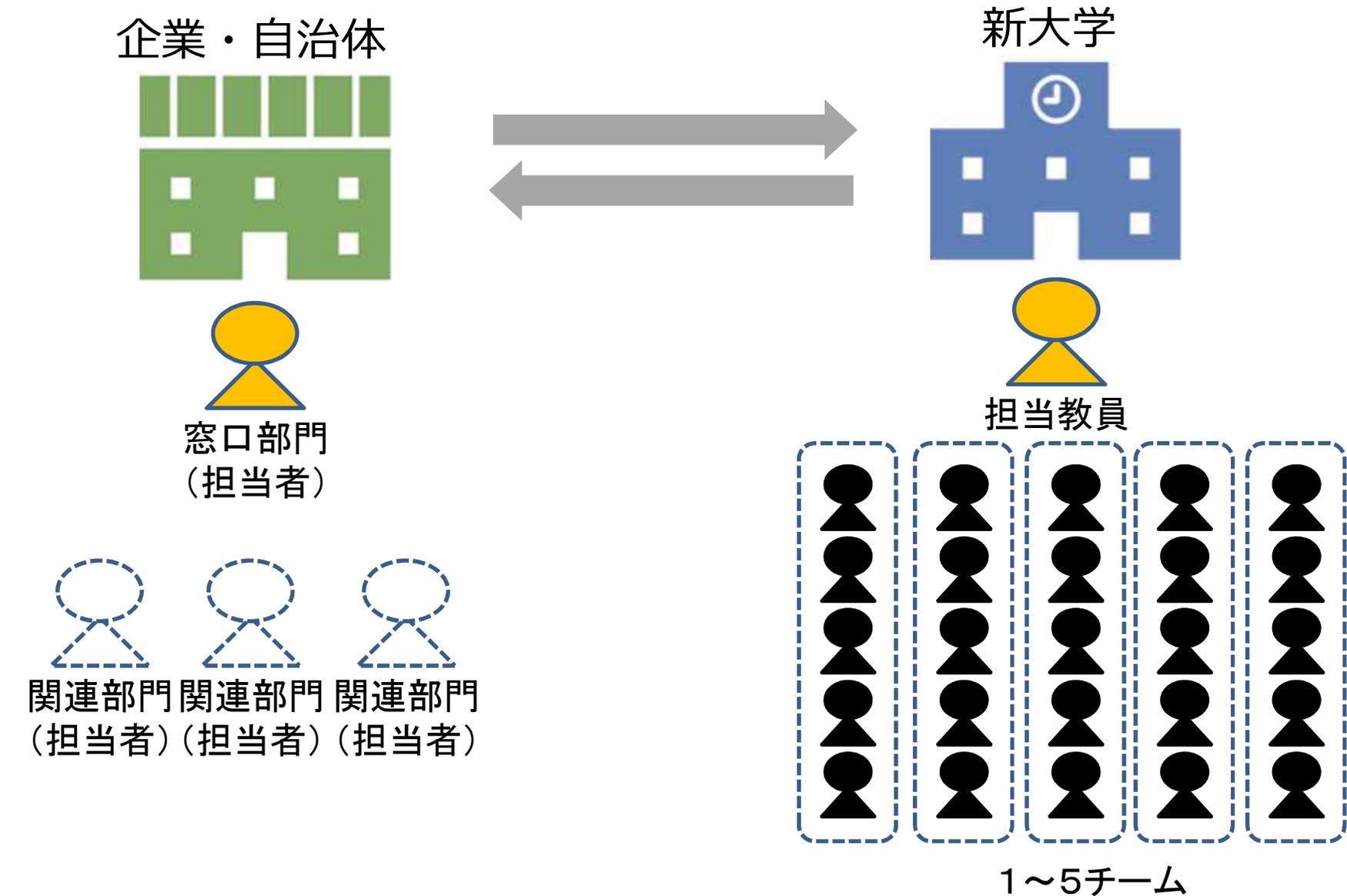


#### ■ 3か月単位の課題解決演習の展開



# 企業・団体等部会で調整する内容③

## 《課題解決演習（PBL）での連携(2)》



## 企業・団体等部会で調整する内容④

### ≪課題解決演習（PBL）での連携(3)≫

#### テーマ(例)

IT企業(研究所)	: グローバルコミュニケーション改善
自動車(研究所)	: 20××年の新サービス開発
通信社(事業開発)	: ヘルスケア新サービス開発
食品会社(事業開発)	: 新商品開発(ヒット商品)
重工業(地域連携)	: 地域貢献ビジネス開発
自治体(区役所)	: 地域の魅力を生かしたまちづくり提案
商店街	: 商店街活性化のための施策
まちづくり会社(財団)	: 移住促進のための施策

モデルケースを策定予定  
ご協力を宜しくお願い致します。

### ≪課題解決演習（PBL）での連携(4)≫

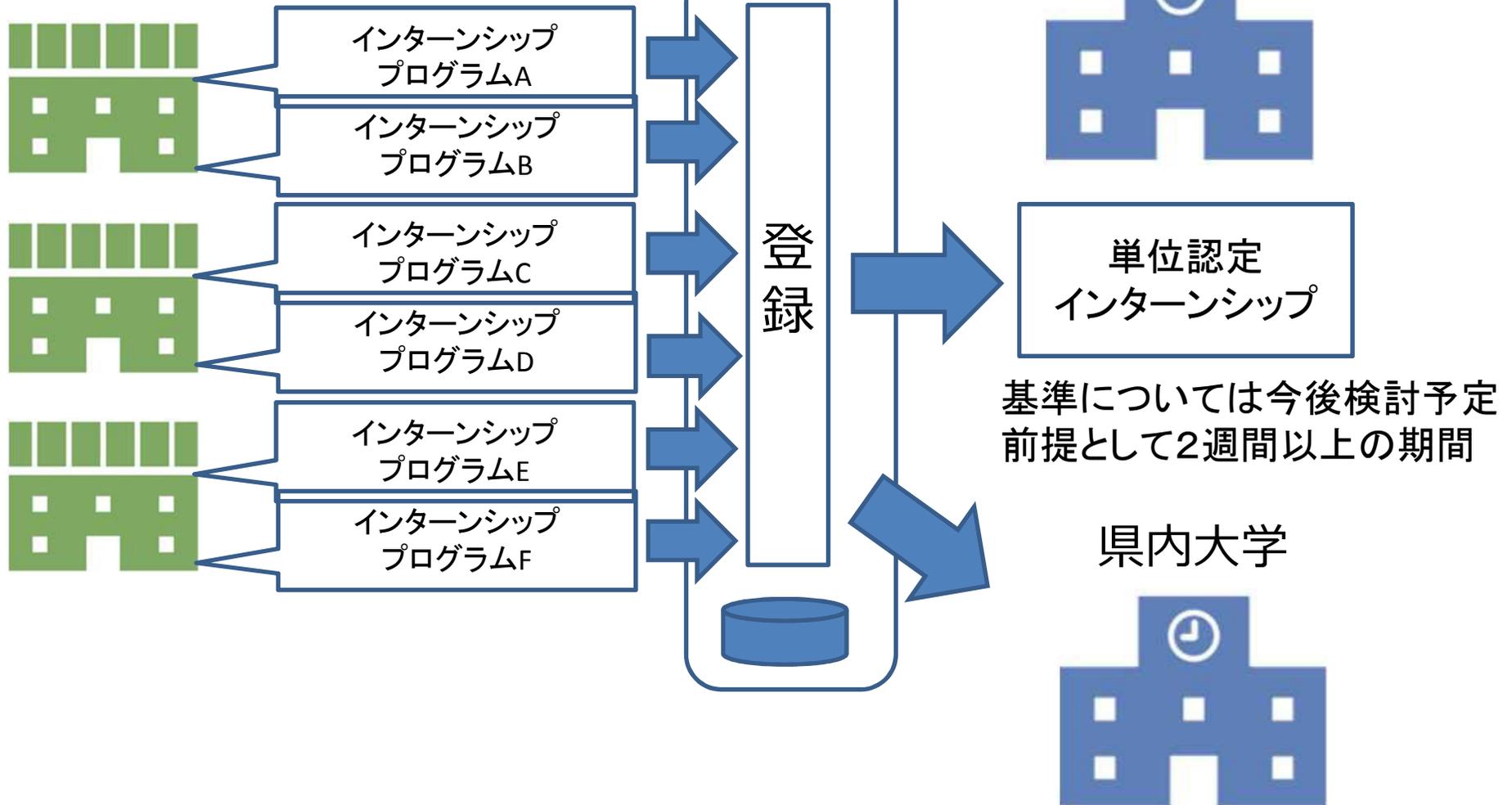
#### 課題解決演習への参加メリット

- 企業・自治体等の課題解決のヒント、多様な視点の獲得
  - ・ 企業や自治体が直面する課題の解決に、既存の枠にとらわれない斬新なアイデアや学生が集めた市場調査の結果が活用可能
- 企業・自治体の認知度向上
  - ・ 企業や自治体における学生に対する認知度向上の機会とともに、社会に対しても地域人材育成を通じた貢献の場として活用
- 企業社員や自治体職員の人材育成
  - ・ 学生等への指導やコーチングの機会を通じて、社員・職員自身の能力向上やモチベーションの向上につながる

# 企業・団体等部会で調整する内容⑥

## 「インターンシップ」

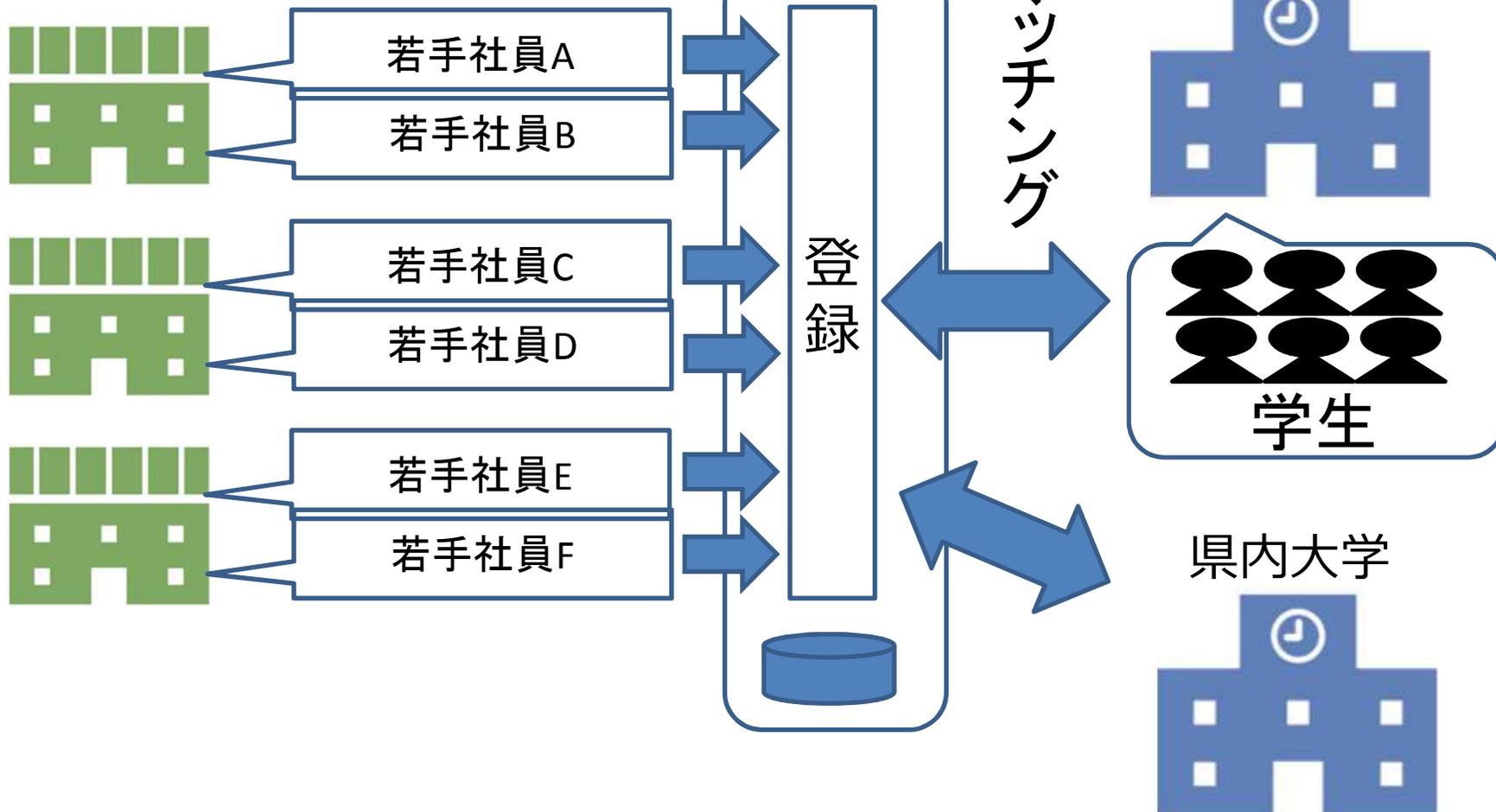
企業・NPO等



# 企業・団体等部会で調整する内容⑦

## 《キャリア・アドバイザー・ボード》

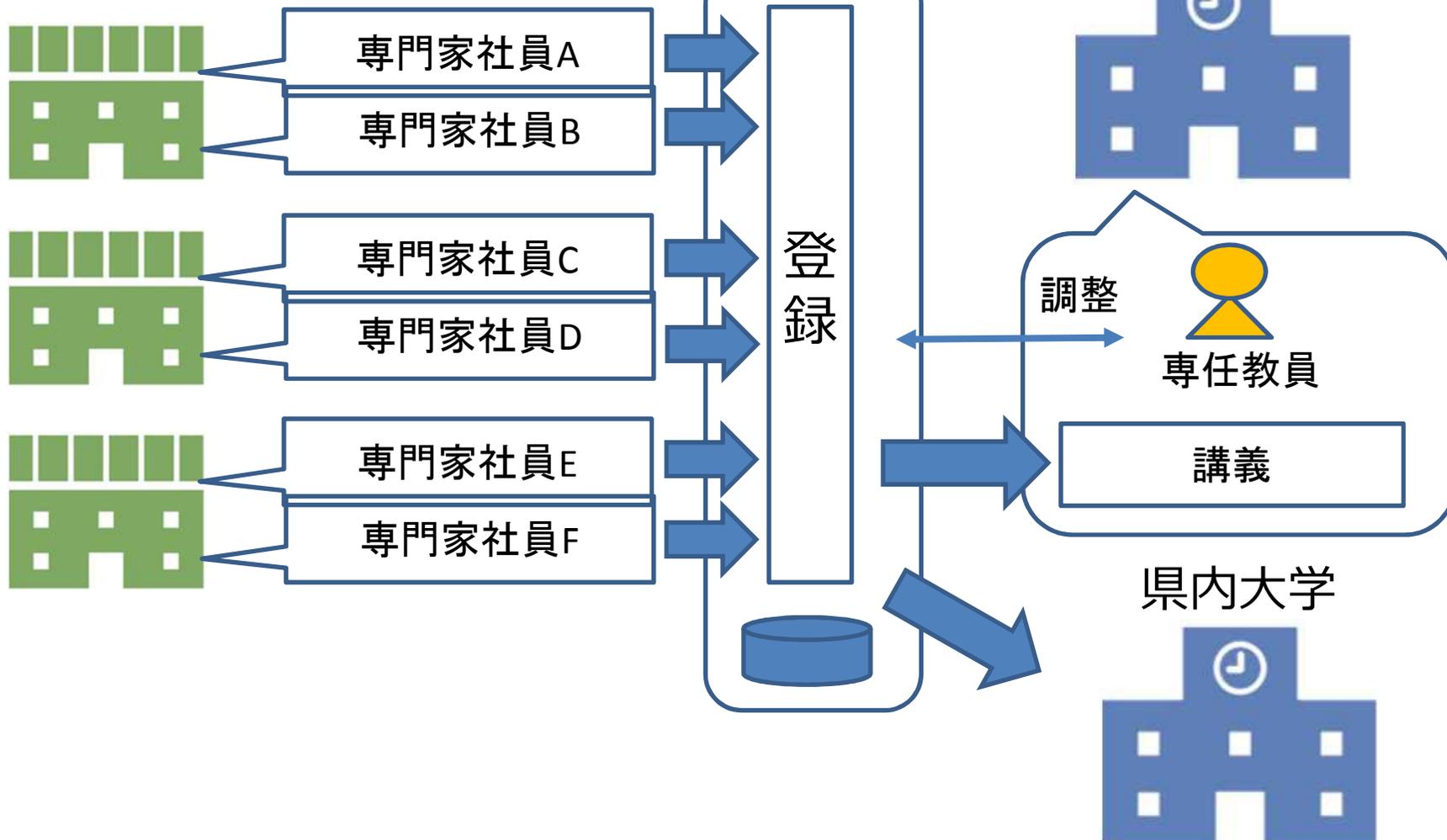
企業・NPO等



# 企業・団体等部会で調整する内容⑧

## 「講師・ゲストスピーカー」

企業・NPO等



## 《新大学と他大学の連携》



### ◆具体的な取組事例

#### ①単位互換制度

- ・新大学の課題解決演習に他大学の学生が参加
- ・他大学の授業を新大学の学生が受講 等

#### ②共同講座

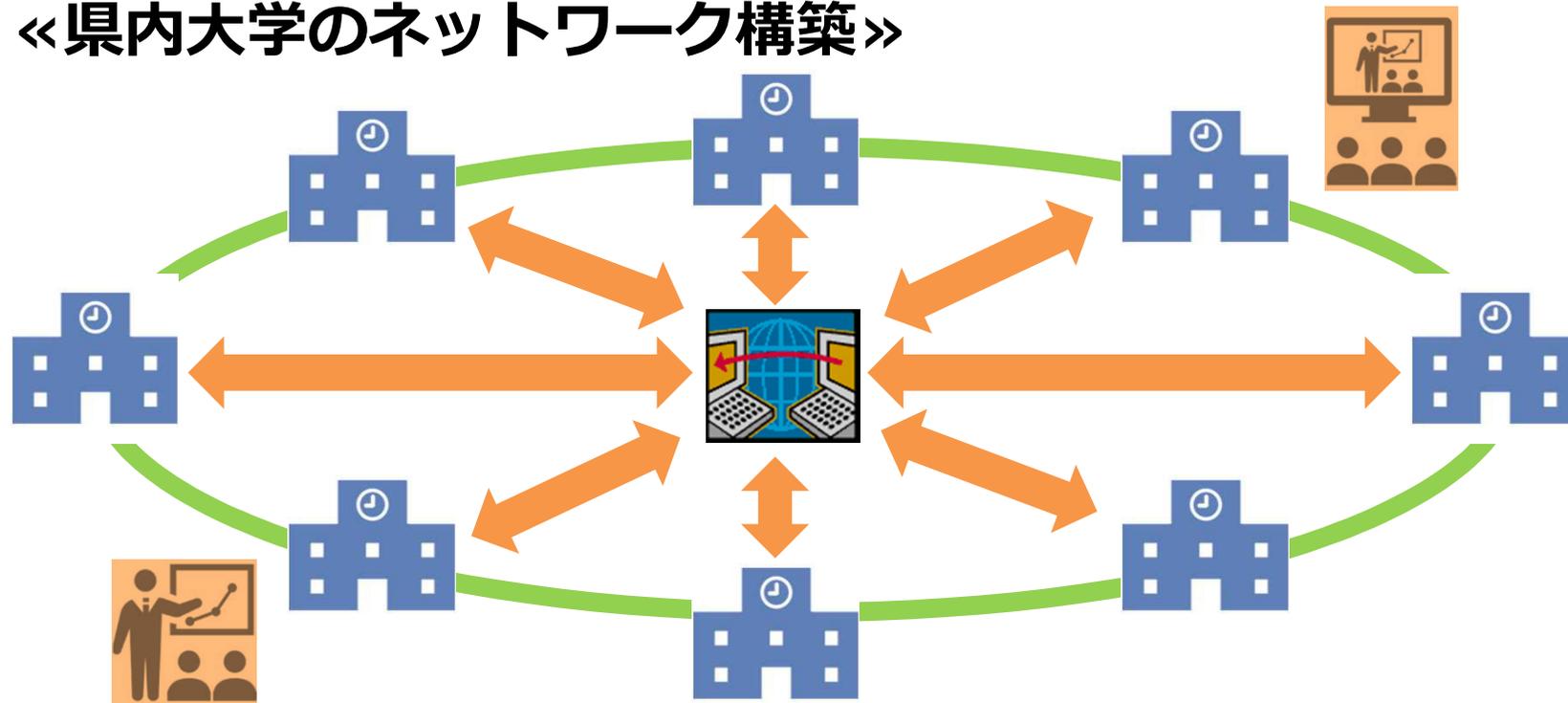
- ・大学同士で個別に連携して共同講座の開設 等

#### ③教員の交流

- ・県内大学の教員が他大学に出向き講義 等

※ 並行して教育ネットワーク中国との連携・役割分担について調整を進める。

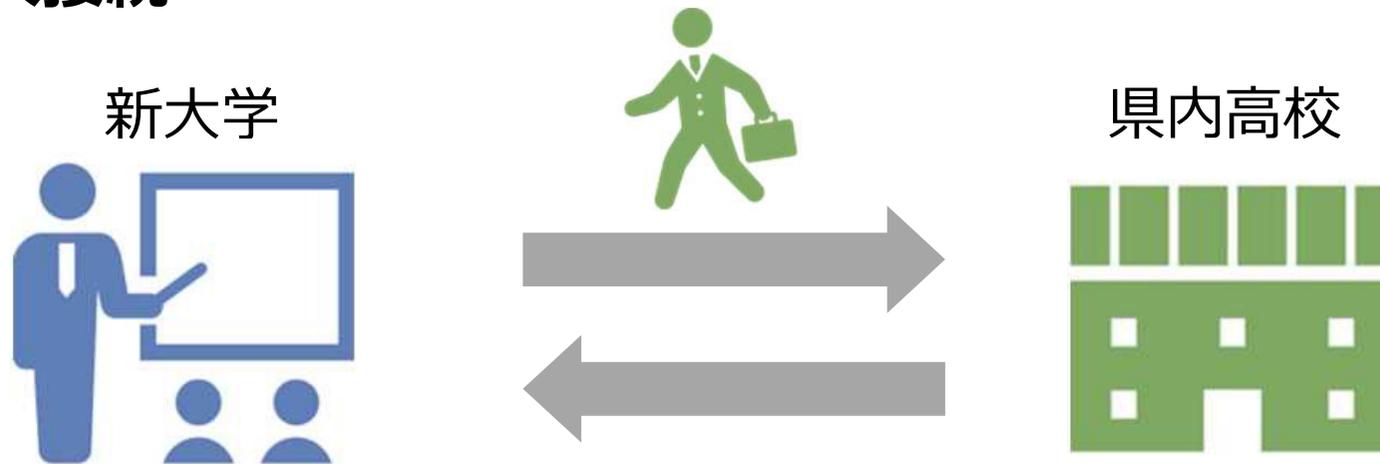
### 《県内大学のネットワーク構築》



#### ◆具体的な取組事例

- ・ 県内大学をネットワークで結び、大学間の移動なく受講可能な遠隔講義システムの検討（SINETの活用）等

## 《高大接続》

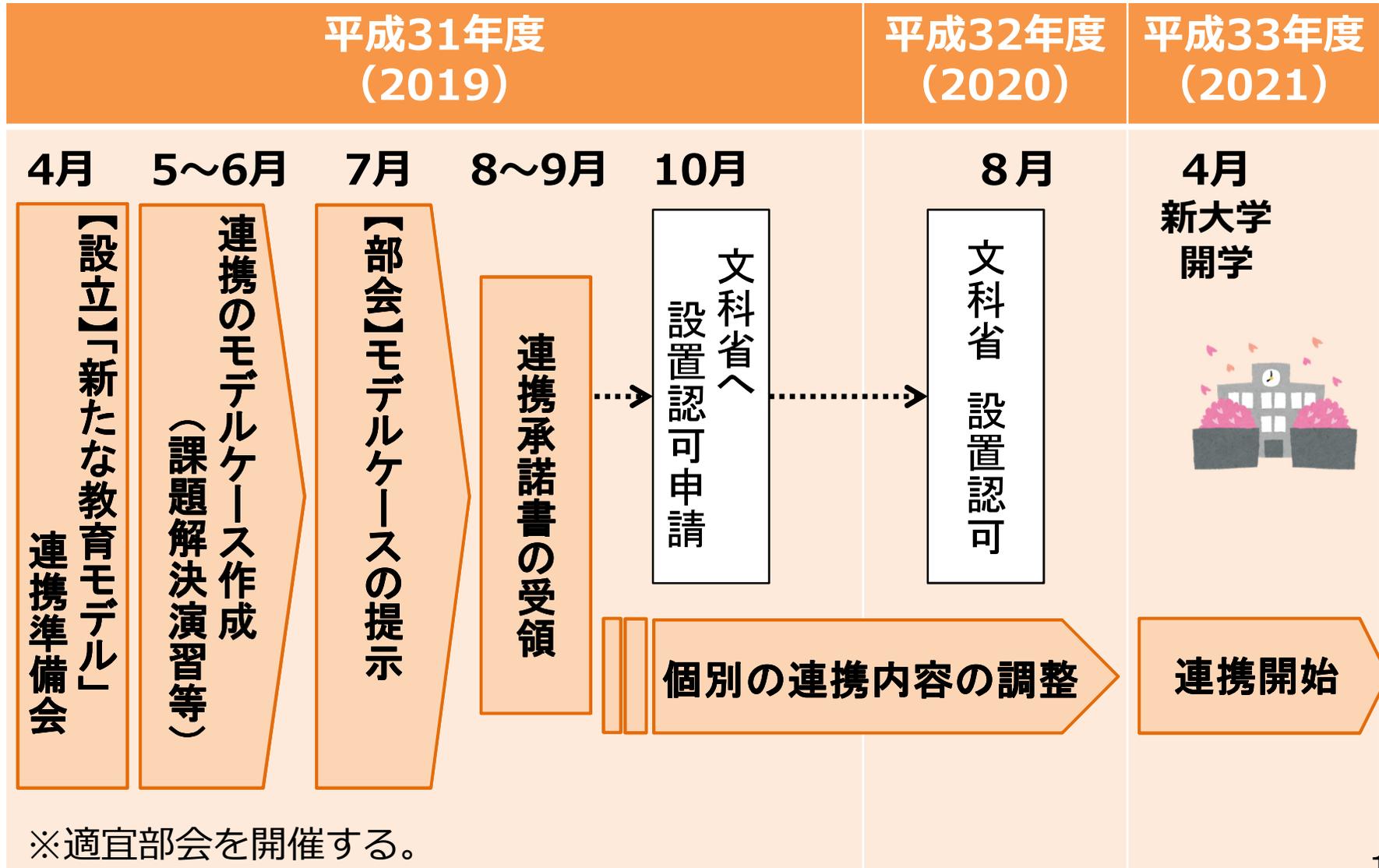


### ◆具体的な取組事例

- ・ 高校生向けに出前講座，公開講座を実施
- ・ 新大学の教員を高校へ派遣し，課題発見・解決学習の指導・助言 等

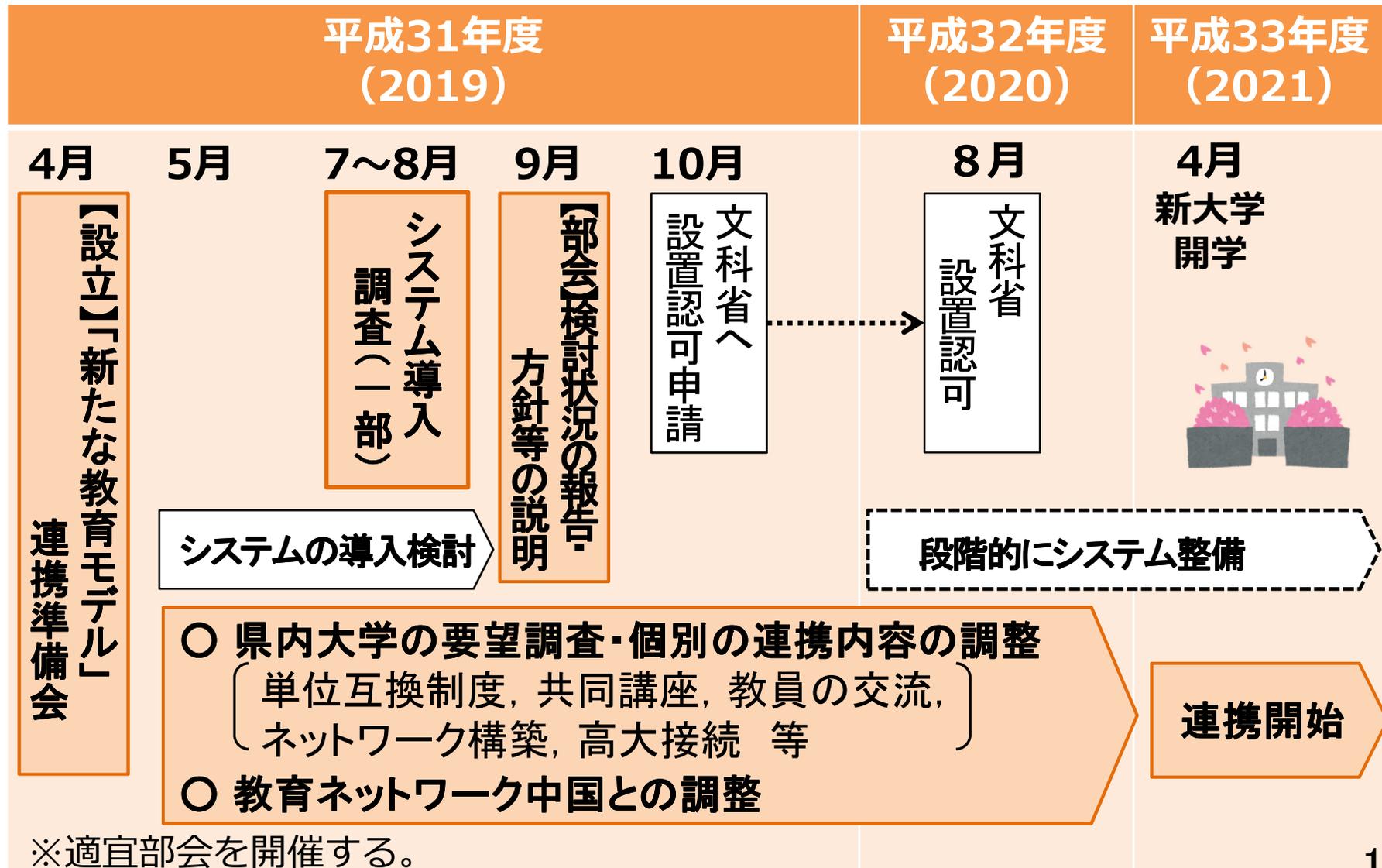
# 今後のスケジュール①

## 《企業・団体等連携部会》



## 今後のスケジュール②

### 「大学・高校連携部会」



## ニーズ調査への協力をお願いについて

新大学の設置認可申請のため、ニーズ調査を行います。

### 《実施概要(予定)》

- 調査時期 6月17日～7月5日
- アンケートの送付・回収 公立大学法人県立広島大学が委託して実施

	受験生(現在高校2年生)向け	企業向け
<b>目的</b>	新大学に入りたいと考える受験生数の把握	新大学を卒業した人材を採用したいと考える企業等の数の把握
<b>対象</b>	○ 県内のすべての高校	○ プラットフォーム参画企業等 ○ 採用が見込まれる分野の企業等 (合計2,000社程度)
<b>送付物</b>	○ アンケートご協力をお願い(受験生向け) ○ 新大学のリーフレット ○ アンケート用紙(受験生向け) ○ 回収・返送用の宅配専用封筒(着払)	○ アンケートご協力をお願い(企業向け) ○ 新大学のリーフレット ○ アンケート用紙(企業向け) ○ 回収・返送用の宅配専用封筒(着払)
<b>送付先</b>	進路指導担当部署	採用担当部署

ご協力よろしく申し上げます。